

市長定例会見

2022年4月26日

今日お伝えしたいこと

1. 新型コロナウイルス感染症対策

2. ウクライナへの支援

3. 里山・農村地域の活性化

新型コロナウイルス感染症対策

直近の陽性件数推移

※発表日基準で集計

		水	木	金	土	日	月	火	累計
直近	4/20~4/26	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	
	感染者数	689	584	599	480	399	265	557	3,573
1週前	4/13~4/19	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	
	感染者数	965	697	620	552	386	190	573	3,983
2週前	4/6~4/12	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日	
	感染者数	859	751	659	647	518	356	763	4,553

現在、兵庫県は **フェーズV感染拡大特別期** です。 4/25 時点

神戸市の 現在の状況

確保病床の使用率

31% (124/398床)

重症者用病床の使用率

26% (14/53床)
(うち、重症者 **11%** (6/53床))

新規感染者 週感染者数
(人口10万人あたり)

192.5人 (4/19~4/25)

入院率 **2%** (入院者数/療養者数)

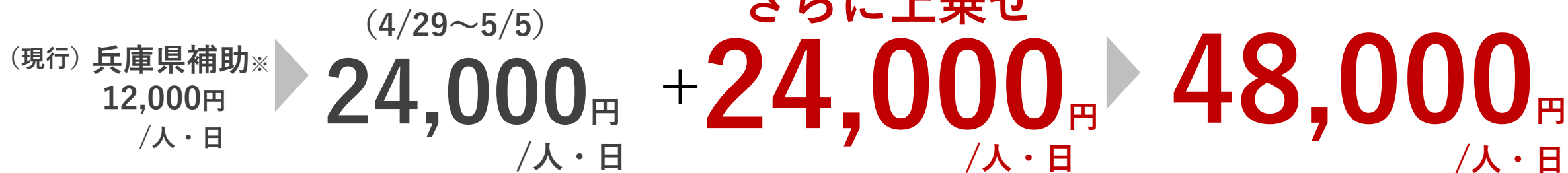
感染経路不明割合 **54.9%** (4/19~4/25)

※市外在住者含む

GWにおけるコロナ対応医療機関への支援

「入院」受入への支援

新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れを手厚く支援



※兵庫県新型コロナウイルス感染症入院医療機関支援事業

「外来」診療への支援

新型コロナウイルス感染症疑い患者の診療・検査を手厚く支援



GWにおけるコロナ対応医療提供体制 (4月29日～5月5日)

対応医療機関

(入院)

合計 **29**医療機関 (昨年度：24医療機関)

(外来)

合計 **241**医療機関 (昨年度：162医療機関)

受診できる医療機関のご案内

新型コロナウイルス専用健康相談窓口

☎322-6250 (24時間 土日祝含む)

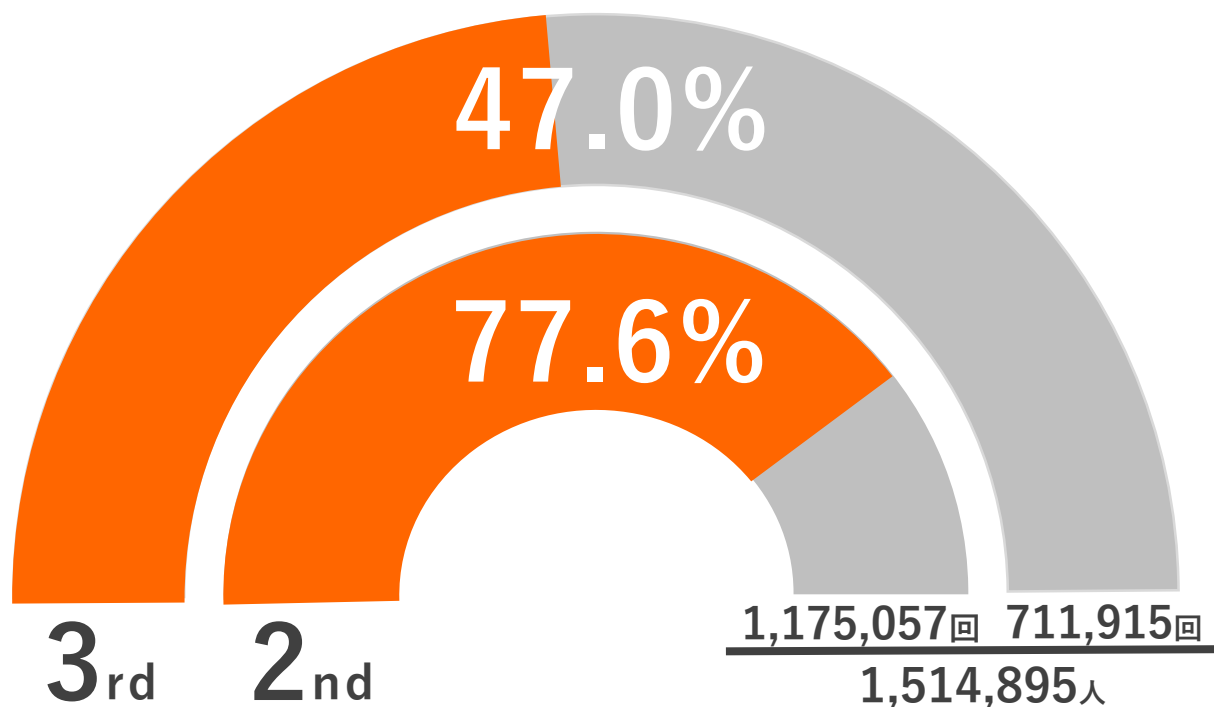
救急安心センターこうべ

#7119 (24時間 土日祝含む)

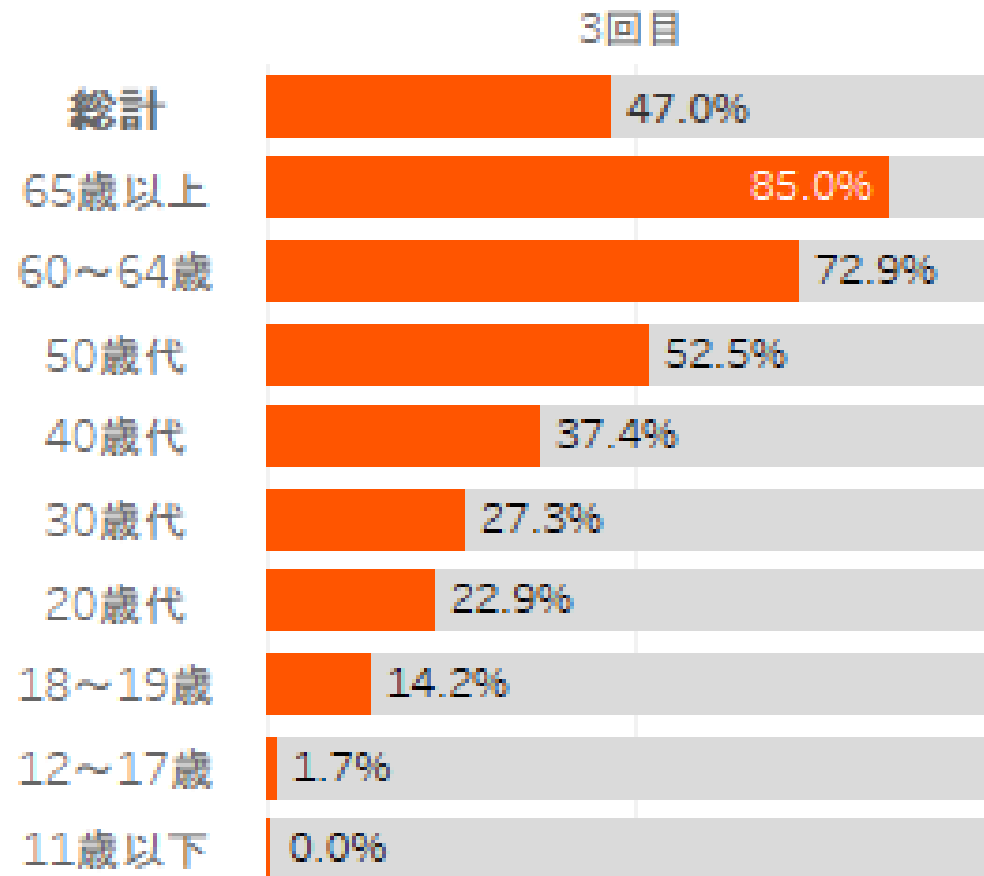
(ダイヤル回線やIP電話などからは**☎331-7119**)

ワクチン接種実績 (4/24 現在)

○接種率 (神戸市民約152万人における)



(参考) 接種券送付済みの18歳以上における3回目接種率 54.8%



大学等キャンパス訪問型団体接種の開始

医師・看護師等が訪問し、より接種しやすい機会を創出することで、**若年層の接種**を促進します

対象の大学等

市内の大学、短大、専修学校(専門学校)

63校

接種対象者(モデルナ社ワクチンを使用)

学生、職員、教職員、従業員やそれらの家族(大学等の近隣住民も可)

神戸市外に住民票のある方も接種可能

神戸市民の方は「接種券なし」「予約なし」で接種可能

(神戸市外に住民票がある方は当該自治体が発行する接種券が必要)

大学等から申込受付の開始(4月27日~)

BE KOBE

【受付・問い合わせ】 団体接種専用コールセンター

 078-771-9400

大学等で接種場所を確保できない場合でも

神戸市が、**大学等とノエビアスタジアム会場を結ぶバスを用意**

**ワクチン追加接種を推進するとともに、
感染拡大防止対策、
医療提供体制の確保に取り組みます。**

ウクライナへの支援

ウクライナ避難民支援の状況

市内の避難民受入人数 14世帯23名 (4/25 時点)

避難されている方同士の情報交換会(4/22)

<お困りごと>

- ・ 通信手段の確保
- ・ 医療費の負担
- ・ 日本語の習得/就労
- ・ 子どもの教育支援

<きめ細かなサポート>

- 特定活動ビザへの早期変更支援
- 日本語講座の案内
- インターナショナルスクールとの連携



今後、SNSによる情報共有のほか、交流イベントも実施

里山・農村地域の活性化

神戸市の農村定住環境の整備

規制緩和による定住・起業促進



空き家・空き施設などの利活用



新たな移住者を呼び込み、里山・農村地域を活性化

これまでの規制緩和(市街化調整区域)

時 期	緩和された内容
第1弾(H27.2)	農村に住む世帯の一人っ子の住宅新築
第2弾(H28.4)	既存住宅の農家レストラン等への用途変更
第3弾(H30.3)	移住時における農村定住起業施設の新築・開業
第4弾(R2.2)	移住予定者の外部からの通いで起業
第5弾(R4.2)	農家レストランの開業、住宅新築などの手続きの簡素化

今回の規制緩和（第6弾）

新たな暮らし・働き方ニーズの変化への対応が必要

課題

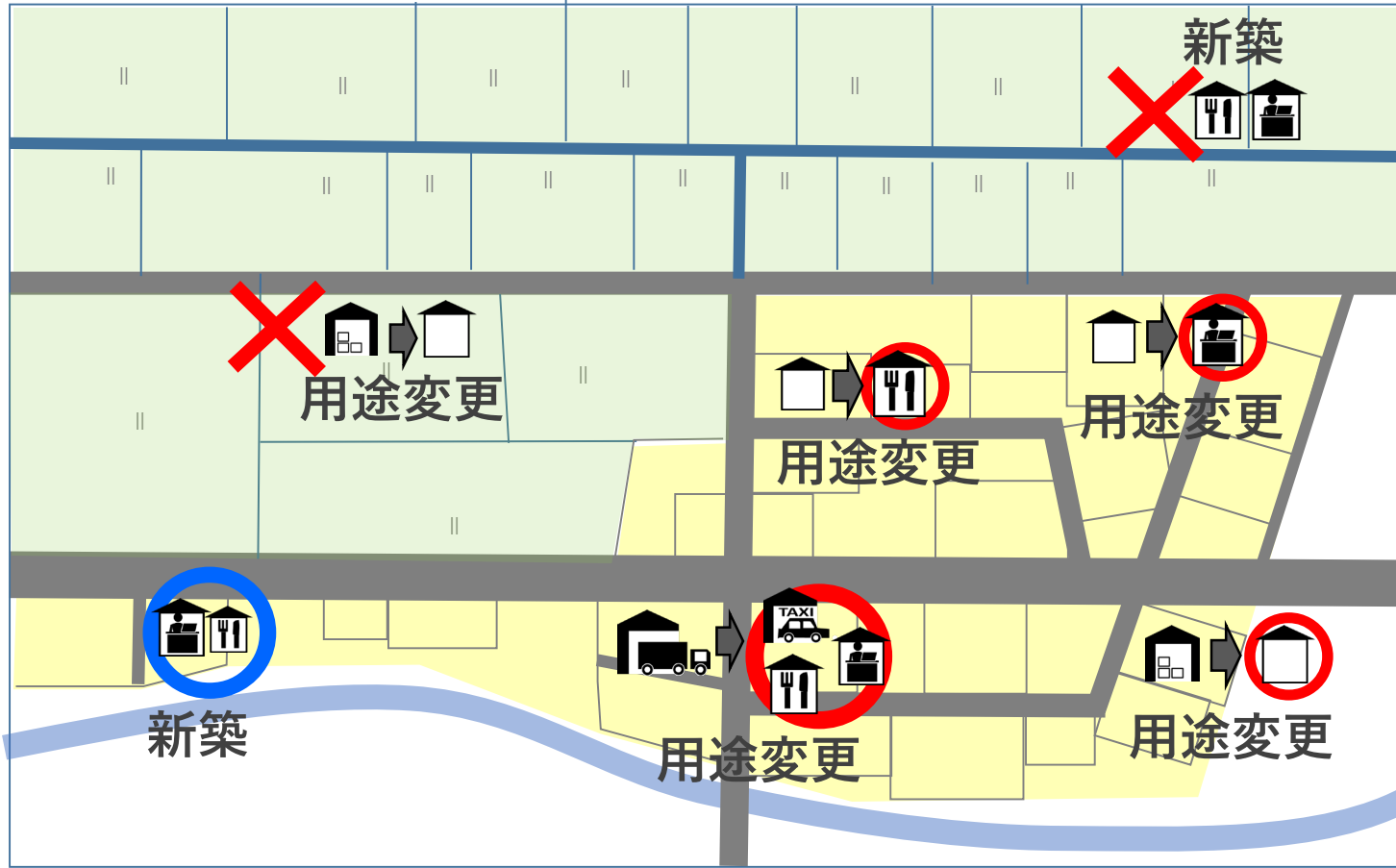
- ・ 新築の用途が限定的
- ・ 起業は居住者のみ







with コロナ社会における移住・起業の促進

- 集落に住めば様々な用途の**新築が可能**
- 集落に住まなくても既存建築物の**用途変更が可能**
(例) 飲食店舗・オフィス など

第6弾のイメージ



-  住宅
-  事業所
-  倉庫
-  事業所
-  飲食
-  事業所

-  誰でもできる
-  居住者（予定含む）に限り可能
-  不可

- 既存集落
- 集落外エリア

※既存集落内の一定規模が対象

今後のスケジュール

4月25日～5月24日

市民意見募集

意見等を踏まえた、基準等の改定



6月中旬頃

市民意見募集結果の公示



7月

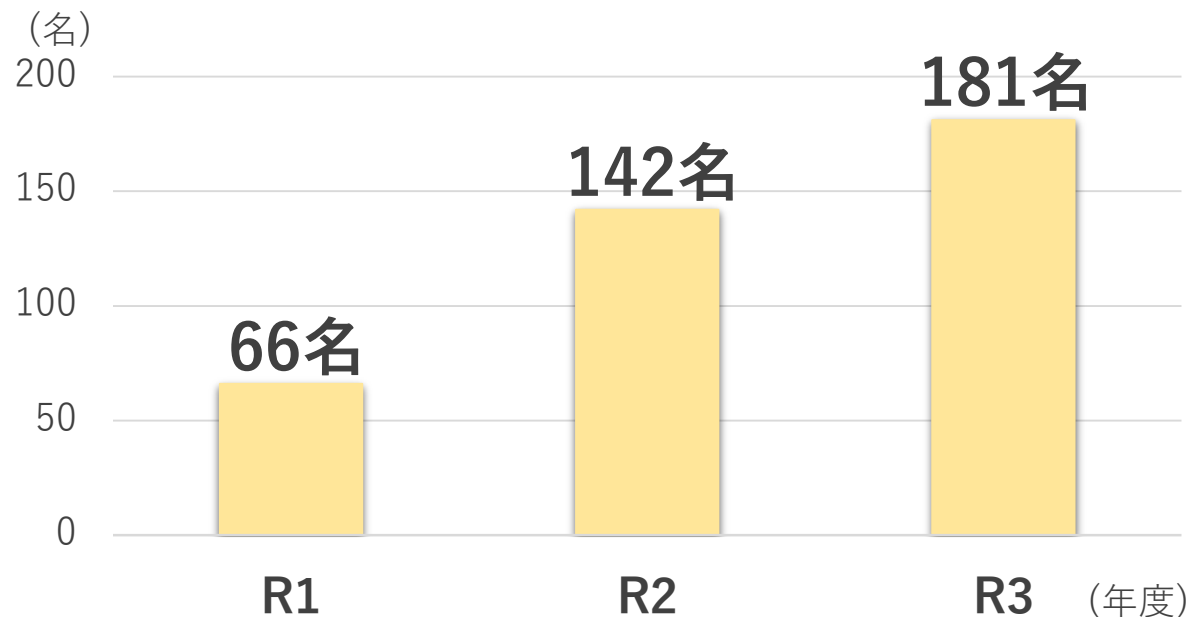
新基準施行

※基準の見直しに伴い、人と自然との共生ゾーン整備基本方針の見直しも同時に実施

農村地域の空き家・空き施設の現状

「神戸・里山暮らし空き家バンク」

【移住希望者の推移】



【空き家登録件数(4月26日時点)】

7件

※当該地域の空き家件数：約240件

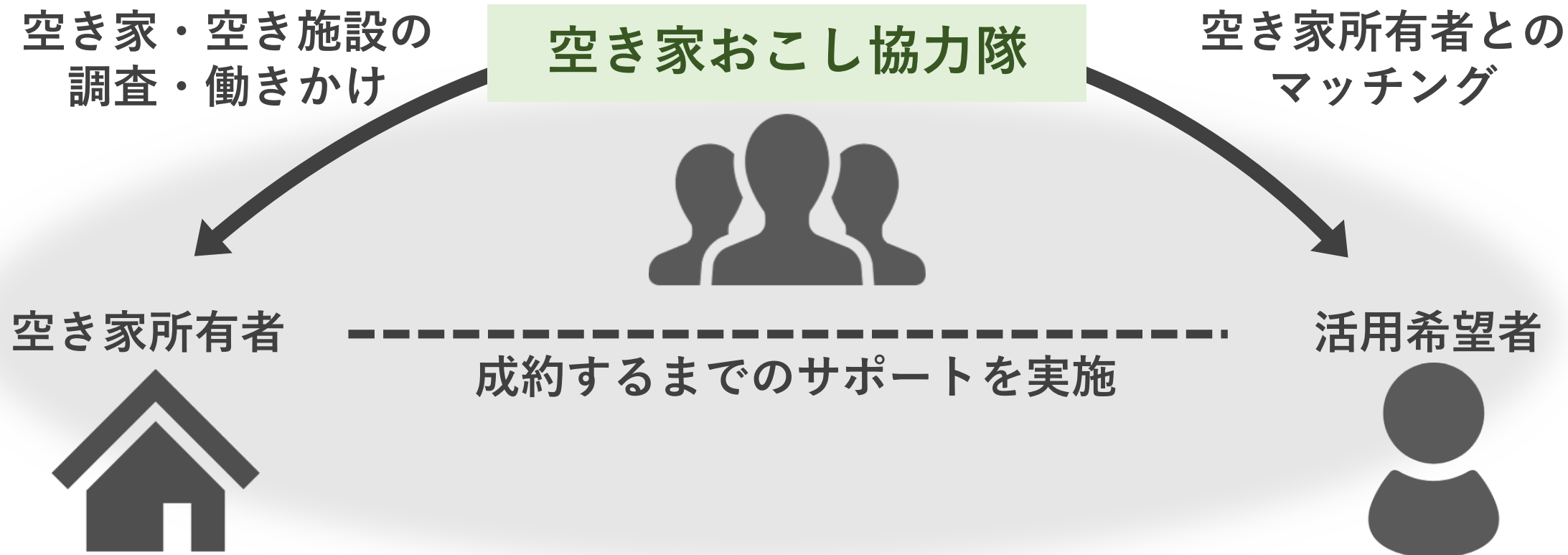
【令和3年度新規登録件数】

17件

移住希望者と空き家のさらなるマッチングが必要

新たな活用促進の取り組み

神戸 里山・農村版「空き家おこし協力隊」の創設



神戸 里山・農村版「空き家おこし協力隊」の募集

活動報告費 1万円／月

成果報償費 10万円／件

募集人数 40人程度

空き家になった経緯をよく知っている方(地域団体の方) など



4月26日（火）より募集開始